

小田原市教育委員会



まごころ通信

～教育長から皆さまへの

緊急メッセージ～

臨時号

令和2年3月4日発行

編集・発行 教育総務課

小田原市立小・中学校、幼稚園の臨時休業及び卒業（園）式等の緊急対応について

小田原市教育委員会 教育長

栢沼行雄

児童・生徒の皆さん、保護者の皆さま、教職員の皆さまへ

小田原市では、全ての市立小・中学校と幼稚園が、3月2日から臨時休業といたしました。このことについて改めてお知らせします。

2月28日にお配りした手紙には、臨時休業に併せて、部活動は一切行わないこととすることや、卒業式については、卒業生と教職員のみで実施することとし、保護者の皆さまはご出席いただけないことをお知らせしました。

これに対して、「どのような理由で休業を決めたのか」また「卒業式には保護者の出席を認めて欲しい。」とのお問い合わせを多くいただきましたので、こういったことを中心にご説明します。

小学生、特に低学年の皆さんには難しいかもしれませんが、保護者の皆さまからご説明いただきたいと思います。（小中学生向けのメッセージも掲載したので、そちらも読んでみてください。）

2月27日に政府から全国の小中高・特別支援学校の臨時休業が要請されたことを受け、2月28日に市長と対応を話し合いました。



教育委員会としては、「子供の命を守ることが最優先」「感染拡大の防止に、この1・2週間で極めて重要な時期」ということを踏まえて、3月2日から春休み（本市の場合、春休みは26日からです。）までの間、児童生徒の「命」に対するリスクを最小限にするため、幼稚園も含めてすべての学校を臨時休業することが望ましいと考えていることを市長に伝え、3月2日から3月25日まで臨時休業することが決定されました。

それから、教育委員会として休業期間中の学校活動の取扱い等について検討しました。

まず、卒業式の開催時期については、中学校は3月11日、小学校は3月19日、幼稚園は3月17日に予定していましたが、感染拡大防止に極めて重要となる時期を避けて、できるだけ遅く開催することで状況が少しでも改善する可能性があると考え、一律3月25日に延期することとしました。

次に、卒業式の出席者の範囲については、児童生徒が成長した区切りを保護者や地域の多くの方に見ていただくことの意義は非常に大きいと考えていますが、大人の通勤等による行動範囲は児童生徒と比べて広範囲で、感染リスクは児童生徒よりも高いと考えています。

大人が卒業式に出席することで会場内の集団規模が拡大し、児童生徒の感染リスクが増すということになりかねず、児童生徒の「命」を最優先に考える教育委員会としては、卒業式を卒業生と教職員のみで行うこととしました。ただし、幼稚園については、卒園児が一人で幼稚園に行くことはできませんので、保護者にも出席していただくこととしました。

そして、部活動については、臨時休業の趣旨が感染拡大防止のため、できるだけ集団活動を行わないということにあるので、一切行わないこととしました。3月26日からの春休み期間も同様です。

教育委員会では、3月25日までの臨時休業に伴い、こうした対応を決定しましたが、今後、政府から新たな要請や見解が示されるなど状況の変化があれば、その都度適切に対応してまいります。

また、春休み以降の対応などについては、3月18日頃を目途にお知らせしたいと考えています。

以上、現時点での状況を率直に説明しました。

教育委員会では、引き続き情報収集に努め、児童生徒に感染を広げないために最善の判断と努力をしていきますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

